

- 1 日 時：令和4年9月5日（月）6校時
- 2 教 科：総合的な学習の時間
- 3 学 年：2年A組 SSB組
- 4 単元名：「自分の未来、島の未来を考えよう！プロジェクト」
- 5 単元について

単元における本質的な問い	単元における永続的理解（本質的な問いの答え）
「なぜ、働くのか？」という問いに、私たちはどのようにアプローチしていけばよいのだろうか？	<p>大人の社会と関わる中で、大人もそれぞれの自分の世界を持ちつつ、社会で責任を果たしていることに気づくことが大切である。働くことや職業を自分との関わりで考えることや、自己の将来を展望しようとすることは、自己の生き方を考えることに直接つながっていく。</p> <p style="text-align: center;">（H29 学習指導要領解説 総合的な学習の時間編を参考）</p>

#### パフォーマンス課題

次のようなプロジェクトを立ち上げます。

##### プロジェクト名

自分の未来、島の未来を考えよう！プロジェクト

##### プロジェクトの目標

- ①【自分の未来への視点】職場体験学習を通して、働くことの厳しさや喜びなどを実感し、自己をみつめ、理想とする将来の自分像に向けて課題を明らかにし、今後の進路選択に役立てる。
- ②【島の未来への視点】大崎上島で働く方々の仕事に対する思いを聞いたり感じたりし、大崎上島の暮らしを守り、発展させていくために大切なことについて考える。

##### 求められる成果物や達成目標

以下の2点を踏まえた「レポート」を個人でつくること。

- ・【自分の未来への視点】将来、職業や進路を選択する上で大切だと思ったこと。また、仕事をする上で大切だと思ったこと。
- ・【島の未来への視点】大崎上島の暮らしを守り、発展させていくために大切だと思ったこと。

##### 評価項目

- ①探究すること：プロジェクトの達成目標に向けて、よりよい方法を考え取り組むことができる。
- ②自ら行動すること：失敗を恐れず行動・チャレンジする。そして、その結果を次の活動に生かそうとする。
- ③自分を見つめること：活動を通して、今の自分を振り返って考えたり、自分の将来（生き方・働き方）について考えたりすることができる。

## 6 生徒観・指導観

事前に生徒には、広島県版「学びの変革」パイロット校事業で検証として用いている「学習に関するアンケート」を実施した。『授業では、自分の考えを積極的に伝えていきます。』に否定的に回答している生徒の割合は44.8%、『総合的な学習の時間』では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいます。』に否定的に回答している生徒の割合は24.1%であった。「情報の収集」、「まとめ・創造・表現」といった探究的な学習過程に日頃から十分に組み合っていないと感じている生徒が多いことがわかった。

本単元は生徒の現状とPBLの考え方を踏まえて単元構成を行った。指導にあたって、「まとめ・創造・表現」の活動が充実するように単元構成を行っていく。具体的に、事業所への職場体験が本単元の“目的”とならないようにする。生徒には「プロジェクトの達成目標」として2つの視点を示し、成果物としてレポート作成を課している。目的意識を持ちながら職場体験を行うことで、「まとめ・創造・表現」の充実につながり、3日間の職場体験もより充実したものになる。そのために、職場体験の事前の学習の充実も図る。また、振り返りシートを活用することで、毎時間や単元終了後の自己評価をやすくし、生徒の変容をとらえながら各時間の指導を行っていく。

## 7 単元目標

- (1) 自分の将来や、島の未来を考えるとという探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、働くことの意義を見いだしたり、地域の特徴やよさが地域で働く方々の努力や工夫によって支えられていることを理解したりする。
- (2) プロジェクトの全体目標から自分の目標を設定し、達成のための計画を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究的な学習に主体的・積極的に取り組み、職業と自分との関わりに関心を持ち、学習したことを自分の将来や今の生活に生かそうとする態度や、社会に参画しようとする態度を養う。

## 8 単元において育成しようとする資質・能力のかかわり

本校で育成しようとする資質・能力及び態度（○は本単元において育成しようとする資質・能力）

思考力・判断力・表現力	○	学習内容を活用し、現象が起こる理由を理論的に思考し、まとめている。
主体性・積極性	○	課題を発見し、解決に向けて授業に意欲的、積極的に取り組んでいる。
自己理解・自らへの自信	○	学習内容が日常生活に関係することを理解し、自信を持って学習に取り組んでいる。

9 単元の評価規準（ルーブリック）

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
			主体性・積極性	自己理解・自らへの自信
A	働くことの意義を見いだしたり、地域の特徴やよさが地域で働く方々の努力や工夫によって支えられていることを理解したりしている。	課題を発見・分析し、適切な計画を立て、それを実行する中で考えたことを、根拠を明らかにしてまとめ、表現できる。	課題解決に向けて見通しを持ち、粘り強く取り組み、自身の活動を振り返りながら次時の活動に生かそうとしている。	職業と自分との関わりに関心を持ち、今後の学習の在り方や自分の生き方や働き方を考えようとしている。
B	地域の特徴やよさが地域で働く方々の努力や工夫によって支えられていることを理解している。	課題の解決に向けての計画を立てることができ、その計画を実施することができる。	課題解決に向けて見通しを持ち、粘り強く取り組み、自身の活動を振り返ることができる。	職業と自分との関わりに関心を持つことができる。
C	地域の特徴やよさが地域で働く方々の努力や工夫によって支えられていることを理解していない。	課題の解決に向けての計画を立てることができない。または、計画を実施することができない。	課題解決に向けて見通しを持ち、粘り強く取り組み、自身の活動を振り返ることができない。	職業と自分との関わりに関心を持つことができない。

10 単元計画【全40時間】

時		学習内容	評価
第1次 課題の設定	1/40	プロジェクトの概要について知る。事前アンケートに取り組む。	知
	2/40	働く意義について考える。	
	3/40	適職診断をする。	
第2次 情報の収集	4～7/40	職業調査に取り組む。	主
	7～8/40	職場体験学習に向けたマナー講座を受講する。	知
第3次 整理・分析 情報の収集	9/40	働く方々へのインタビュー内容を考える。	思
	10～12 /40	事業所に提出する「願書」を作成する。	
	12～13 /40	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験先で起こることが想定されるアクシデントやトラブルへの対処法を考える。</li> <li>・電話でのアポイントメントや事前訪問について確認する。</li> </ul>	
第4次 実行	14～31 /40	職場体験学習を行う。	主 思
第5次 まとめ・創造・表現	32/40	職場体験学習全体を振り返る。	主 思
	33/40 (本時)	インタビュー内容から、大崎上島の暮らしを守り、発展させていくために大切なことについて考える。	
	34～39 /40	レポートを作成する。	
第6次 ふり返り	40/40	これまでの学習をふり返る。 事後評価シートに取り組む。	主

1 1 本日の授業（第5次 33時間目）について

(1) 本時の目標：職場体験でのインタビューを振り返り、自分の考えを深める。

(2) 本時の学習の流れ

学習活動	指導上の留意事項（◇） 「努力を要する」と判断した生徒への指導の手立て（◆）	評価の観点 (評価方法)
<p><b>課題の設定</b></p> <p>1 本時の位置づけについて確認し、課題意識を持つ。 ・本時のワークシート、振り返りシートを配付・確認する。</p> <p>2 本時の課題を確認する。</p>	<p>◇本時がプロジェクト全体でどのような位置づけにあるのかを説明し、本時の活動や今後の活動について見通しを持たせる。</p> <p>◇プロジェクトの達成目標を確認する。</p>	
<p>本時の課題：インタビューの内容を振り返り、各自の考えを深めよう。</p>		
<p><b>情報の収集</b></p> <p>3 インタビュー内容をJamboardにまとめる。 ・質問項目ごとに付箋を貼る。</p>	<p>【自分の未来への視点】に関する質問</p> <p>①仕事をする上で大切にしていることは何ですか？</p> <p>②この仕事についたきっかけや理由は何ですか？</p> <p>【島の未来への視点】に関する質問</p> <p>③大崎上島で働こうと思ったのはなぜですか？また、働いてみてどうですか？</p> <p>④大崎上島で働いてうれしかったことや、やりがいについて教えてください。</p>	
<p><b>整理・分析</b></p> <p>4 各自で貼った付箋をグループ分けする。</p>	<p>◇担当するボードを決め、同じような付箋を集め、グループ分けをする。</p>	
<p><b>まとめ・創造・表現</b></p> <p>5 全体でJamboardを見渡し、気になった付箋について取り上げる。 ・生徒からの気づき ・教師からの気づき</p> <p>6 自分の考えを深める。 ・個人思考→全体交流</p>	<p>◇取り上げた付箋について、インタビューした際の相手の様子や、その方の働く姿を見て実際に自分が感じたことや考えたことを発表させる。</p> <p>◆同じ職場や同じ職種で体験した生徒からアドバイスをもらうようにする。</p> <p>◇5を踏まえて、ワークシートに自分の考えをまとめさせる。</p> <p>◆2つの視点を再確認し、この活動がレポート作成につながるということを意識させる。</p>	<p>思・判・表 インタビュー内容や全体交流をもとに自分の考えを表現する力を身に付けている。 (観察・発表・ワークシートへの記入)</p>
<p><b>振り返り</b></p> <p>6 本時の振り返りをする。</p>	<p>◇ふり返しシートを用いて自己評価をさせる。</p>	

